

2学期始業式 式辞

本来ならば1学期の終業式と同じように、みんなで体育館に集まって、一人一人の顔を見ながらお話したかったのですが、新型コロナウイルス感染症が全国、そして宮城県や気仙沼市でも広まっていることで、今日は放送で皆さんにお話しします。

さて、36日間の夏休みも終わり、いよいよ今日から2学期が始まります。みんなが事故もなく元気に登校できたことは、当たり前のことですが、大切な事であり、先生方もとてもうれしく思っています。

2学期は、とても過ごしやすい気候となって、勉強や運動に絶好の季節となります。一番長い学期でもありますが、勉強や運動、行事をとおして、友だちとの思い出がたくさんできる学期でもあります。ですから、校長先生は、一番楽しい学期だと思っています。

2学期を楽しい学期にするためには・・・ということで、今日は、皆さんに『自分から進んで行う』ということ、キーワードとして、話をします。

毎日の生活の中で、「担任の先生に言われてから行動する」、「先生に言われてから掃除をする」、「家の人に言われてから宿題をする」、このように、人に言われてから行動するのでは、本当の力・よさは出せません。

「どうせ するんだったら・・・」、「どうせ やらなければならないんだったら・・・」、何事も『自分から進んで』動いた方がよいということです。そのほうが、楽しくできるし、頑張りがきき、自分で「頑張った」という充実感も味わえるのです。

「自分から進んで行う」ということを意識するかしないかで、取組や結果が大きく違ってくるはずです。「今までの自分」に「新しい自分」をプラスするために、自分から動いてみて下さい。

自分から進んで行動し自分を成長させる、そしてお互いを思いやり、それぞれが安心して楽しい学校生活を送る、その結果自分も学級も共に成長する……。

そんな2学期になることを期待しています。

最後にもう1つだけお話しさせて下さい。はじめにもお話ししましたが、新型コロナウイルス感染症は宮城県や気仙沼市も含め全国で感染拡大の状況にあります。

中には不安を感じている人もいることと思いますが、不安を少しでも減らすよう、この2学期の始まりと同時に、感染症防止のための具体的なことを、あらためて、みんなですっきりと実行していきましょう。「3密をさけることはできているかな」「マスクは鼻がかくれるようにつけているかな」「こまめに手洗いや消毒はしているかな」「毎日検温をし、体調管理につとめているかな」などを1学期と同様に一人一人意識しながら生活し、感染防止に努力していきましょう。

以上でお話を終わります。

令和3年8月26日 九条小学校 校長 斎藤博厚